

令和８年１０月３０日(金)
第３学年 学年通信　第 10 号
文責：

ラストスパートへの思い－後期学級役員のことば－

１ 年生からこれまで、多くの場面でリーダー会や縁の下会のメンバーが、学年の中心となって引っ張ってきてくれました。そして、いよいよ卒業まで、残りの登校日数は８０日を切りました。そんな中学校生活最後に、学年を熱い思いで引っ張っていくリーダーの思いを聴いていきましょう。そして、学年みんなで、最高のフィナーレに向けて、毎日を充実させていきましょう。

	級長	副級長	学級書記	学級書記
１組	最高の卒業式を迎えるためには、残りの中学校生活で全てのことに本気になり、魅せる杯や日々の生活に、３年生がお手本となって取り組むことが大切だと思います。北中の最高学年として、「先生や人に言われてから行動するのではなく、自分から動く」ことを当たり前にしていきたいです。そして、最後には「語り継がれる卒業式」にしたいです。そのためには、リーダーだけが呼びかけ、リーダーだけが頑張るのではなく、リーダー以外の人たちも自分がリーダーだという意識をもって生活することが大切だと思います。全員が自分から呼びかけ、行動することで、一人一人のレベルが上がり、学級や学年全体がさらに成長できると思います。だからこそ、まずは自分が一番にそれを実行し、その姿を見てみんながついてきてくれるような行動をしていきたいです。残りの日々を全員で本気になって過ごし、最高のフィナーレを迎えたいです。	まず学級では、級訓の No. １ が最後の日に達成できたってちゃんと振り返れるようなクラスにしたいです。行事では、アルミ缶、キャップ、魅せるカップなどで、No. １。配慮移動、給食配膳などの日常で No. １。最後までやりきれたねと、言えるクラスにしたいです。そして学年では、１、２ 年生たちが私たち３ 年生の姿を見て、「かっこいい」「自分たちもやらなきゃな」という意識をもってもらえるような姿を後輩たちに見せていきたいです。	最高の卒業式というフィナーレを迎えるために、私は残りの中学校生活を、学級や学年の仲間と「当たり前の日常」を一番大切にする時間にしたいです。行事を成功させることだけが全てではありません。朝の「おはよう」という挨拶、授業中の真剣な空気、休み時間にみんなで笑った時間。そんな何気ない毎日の積み重ねこそが、私たちの絆を作ってくれたと思います。だからこそ、授業や係活動など、日常の細かいところまで最後まで全力で取り組みたいです。一人一人が互いに支え合い、一日一日をやりきったと胸を張って言えるクラスにしたいです。そして、最後の１秒まで成長し続ける姿を見せることが、支えてくれた先生方への一番の恩返しになると思います。卒業式では、後輩たちにテキパキとした行動力を魅せ、全員が最高の笑顔で終えられるようにしたいです。	私は、今まで頑張ってきたことを最後までやり切り、誰が見ても「いつも頑張っている学年だな」と思ってもらえるような学年にしたいです。１年生の時から、私たちは挨拶や３分前着席を意識し、「当たり前を当たり前にできる」ように頑張ってきました。だからこそ、新しく何かに取り組むというよりも、自分たちが頑張ってきたことを見つめ直し、最後まで全員でやり切る姿を魅せたいです。そして、その姿を北中に残し、自分たち自身も「やり切れた、良い３年間だった」と胸を張って言えるようにしたいです。前期の活動を通して、私は「リーダーはクラスの中で一番頑張る人」だと学びました。だから、まずは自分が率先して挨拶や挙手など、当たり前の行動を頑張りたいです。そして、周りを巻き込みながら、全員で頑張る雰囲気を自分から作っていきたいです。
２組	これまで合唱コンクールなどの行事にも本気になり、学級全体で努力し、学年としても全員で高め合ってきました。ただ、行事だけを頑張るクラス、学年ではありたくありません。日常にも本気になって取り組めてこそ真に素晴らしいと言えると思います。これまでクラス、学年として意識してきた挨拶や移動、セットアップや３分前着席なども継続していきたいです。行事だけでなく日常でも、最後まで走り切れる学級・学年を目指します。リーダーとして、呼びかけや全体で話すときに、みんながより意識したくなるように話し方を工夫します。そして、みんなをまとめる立場ではありますが、上から目線でなく、みんなと一緒に歩んでいきたいと考えています。学級・学校の仲間と等身大で歩いていく、そんなリーダーであるようにします。	最高の卒業式を迎えるために残りの学校生活では、日常にもっとこだわれる学級、学年にしていきたいです。合唱コンが終わり、行事がなくなる今だからこそ、日常を大切にすることが必要だと思います。そうした姿は、後輩たちの手本にもなり、「自分たちもこんな３年生になりたい」と思ってもらえることにつながるはずです。そのために、まず呼びかけを意識します。セットアップや３分前着席、教室移動など、いろいろな場面で自分から呼びかけることで、クラス全体が日常を意識できるようにしたいです。そして、呼びかけをしなくても、一人一人が自分で考えて行動できる学級・学年を目指します。最高学年として、日々の当たり前にこだわる姿を後輩たちに魅せ、最高の卒業式につなげていきたいです。	学級では、行事で培ってきた団結力や協力などを生かして学級で決めた目標を達成することを目指して、さらに３ 年生として目指す姿に成長した状態で卒業式を迎えたいです。また、学年としては後輩に応援されるような学年であり続けるために、継続的な挨拶、配慮移動、可能な範囲での奉仕活動などが自主的にできるようにしていきたいです。学年で、１ 年生から強みと言われてきた挨拶を、私は３ 年生で振り返り、後輩の手本となるように挨拶や返事を重点的に伸ばすことを意識したいです。また、配慮移動や整理整頓などを当たり前として捉えて行動できるようにしていきたいです。	今まで、配慮移動や、３分前着席、セットアップなどの日常を大切に過ごしてきました。それが卒業式で発揮できるように、日常にもっとこだわり、完璧な姿で卒業式を迎えたいです。そして、これを後輩に引き継いで行ってもらえるようにもしていきたいです。最高の卒業式を迎えるために、これから配慮移動やセットアップ、３分前着席を意識するのはもちろん、できていなかったら互いに声をかけ合い、自分ができることを最大限出せるようにしていきたいです。また、大きな行事はないけど、アルミ缶回収やペットボトルキャップ回収を通して、団結力はまだまだ深められると思うので、自分ができること全てしていきたいです。

裏面に続きます！

	級長	副級長	学級書記	学級書記
3組	まずは、今までやってきた日常を最後までこだわり続けたいと思っています。 3年間を通して、挨拶や移動などの日常を特に大切にしてきたと思うので、卒業に向けて最後まで日常を大切にできる、こだわり続けられる学年にしていきたいです。今まで通り、こだわれるところは最後までこだわり切ることを大切にして、自分から呼びかけをするのはもちろんだし、まずは自分が手本になれるように自信を持って行動していきます。	今まで日常を大切にしてきたからこそ、卒業式に向けて何か特別な目標を用意するのではなく、今まで取り組んできた移動・挨拶・セットアップ・姿勢などをさらに意識して取り組めるようにしたいです。クラス内で返事・姿勢・挨拶・礼について目標を立てたので、それを意識して取り組みたいです。特に、礼に関してはカウントダウンをしてタイミングを合わせます。クラス内だけじゃなくて学年全体にも浸透していくといいなと思います。	挨拶や移動、切り替えなどを完璧にしていきたいです。来年からはそれぞれにみんな違う学校に行くから、その先でも恥ずかしくないように、挨拶や移動、切り替えなどを完璧にしていきたいです。自分は特に呼びかけを頑張っていきたいなと思います。僕は結構声を出すことには自信があるので、自分が呼びかけをして学級や学年を引っ張っていけるようにしていきます。	特別だから頑張る、のではなく日々頑張ってきた日常を最後まで続けることができる学年にしていきたいです。まずは自分が自分の役割を自覚して全うし、その他に自分がクラスのためにできることをその時その時で考えて行動に移すことを意識していきたいです。特に給食配膳や集配の仕事などを積極的に自分から行って役割をやり遂げたいです。
4組	学年として、他学年に移動や授業への切り替えなどでさまざまなことで、魅せて尊敬されて、引き継がれるようなものにしていきます。自分は、常に同学年や他学年の人が見ていると思い、移動や切り替えなど呼びかけをして、行動していきたいです。	学年として他学年のお手本になることはもちろんですが、日常の一つ一つを意識して生活していきたいです。切り替えを大切にして生活するなど、常に最高学年としての自覚をもっていたいです。まずは、自分が積極的に行動をして、みんなより先に動くことを目標にします。リーダーとしての自覚をもち、みんなの前に立っても堂々としていられるようにしていきたいです。	今までできた事は、今まで通り続けて、さらにもっとできること、この学年にしかできないことをしていきたいです。そして、後輩に憧れられる存在であり、受け継がれていくような北中の伝統をつくっていきたいです。初めて学級書記になったので、クラスをまとめることはもちろんですが、最高の卒業式をつくっていくために、何事にも他の人よりも一歩リードして生活していきたいです。	残りの学校生活を、私たちが卒業した後、1・2年生が憧れ、目標とされるようなものにしていきたいです。そのためにも、普段の生活を見直し、自分が学級のお手本となって引っ張れるように意識して生活していきます。
5組	これまで体育祭、合唱コンクールでクラスの仲間と高め合って、日々成長し、語り継がれる行事を作ってきたと思います。そして私たちは、行事だけでなく、日常も大切にしてきたと思います。今まで3年間で積み重ねてきたことを当たり前に行い、1年生、2年に自分たちの背中で自信をもって魅せることのできる日常を積み重ねていきたいです。まず自分が行動で示します。そして、学年全体で魅せていきたいので、周りを巻き込んで、卒業式は、学年で魅せます。	私は、最高のフィナーレをみんなで迎えるために、「この学年、クラスで本当に良かった」「あの先輩たちすごかった」と言われるように生活していきたいです。これから過ごす日常のすべてに「最後」の2文字がつくようになります。だからこそ、普段あまり話さない人ともあえて言葉を交わし、照れずに「ありがとう」を伝えたいです。その積み重ねの先に、本物の絆や最高の景色が待っていると思います。休み時間や移動教室で一人でいる仲間がいたら、私から真っ先に声をかけ、温かい空気を作っていきたいです。また、何気ない助け合いの瞬間にも、相手の目を見て感謝を伝えたいです。私の言葉から、お互いを支え合える最高のチームになるよう、温かい空気を広げていきたいです。「この学年で本当に良かった」と全員が心から笑って泣ける最後の日を目指して、まずは私がみんなを支え続けます。	卒業式までに、日常を大切にして、応援されるような学年になっていたいです。誰かに応援してもらうには、日頃からの挨拶やセットアップ、移動などが大切だと思います。その中でも、挨拶は相手にいい印象を与え、お互いがより良い気持ちになれると思うので大切にしたいです。また、何気無い日常、残り少ない行事一つ一つを大切にして全員がこのクラス、学年でよかったなと思えるようにしたいです。そのために、挨拶やセットアップをきちんとできるようにしたいです。そして、クラスの仲を深めることも大切だと思います。素直な自分を互いに少しでも出していったら、今よりももっと仲が深まり、このクラスでよかったなと思えると思います。	僕はこの学年の意識を全面的に変えていきたいです。 そのため全員が、自分は卒業生だという自覚を持ちながら残りの学校生活を過ごすことができるようにしたいです。後輩に直接見られる場で「見習いたい」「こんな学年になりたい」「かっこいい」と思われるような行動に自分から取り組んでいきたいです。まだ意識が足りていないと思うので、掲げた目標の達成に向け、周りを巻き込んで、みんなで目標達成を目指していきたいです。

リーダーたちは、「特別な日」だけでなく、「当たり前の日常」にこそこだわろうとしています。誰かに言われて動くのではなく、自ら動く。その一人一人の姿が、仲間の心を動かし、北中に語り継がれる最高のフィナーレをつくるはずです。「最高の卒業式」は、「最高の日常」の先にある。残りの日々、みんなで魅せていこう。